

『個別施策④ 誘客促進』

養老町まちづくりビジョンの大綱「4. 活力あふれる基盤づくり」に関する施策となります。

★ネクスツ100プロジェクト事業(32,070千円)

地域産業の活性化を目的とした食肉産業を主体とするイベントや、SDGsに対する理解を広げ、サステイナブルなまちづくりを目指し、SDGsマルシエを実施します。

○養老公園観光拠点整備プロジェクト(23,997千円)

令和3年度に改修を行った養老鉄道養老駅舎観光インフォメーション施設を活用し、養老町特産ブランドを強力にPR、養老駅を始点とした観光滞在時間増大のための三次交通手段の導入、さらには雄大な自然に囲まれた養老公園を中心としたヘルスツーリズム商品の開発に取り組み、持続可能な事業として構築できるような関係機関との連携を強化していきます。



『個別施策⑤ コロナ対策』

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の取り扱いが2類から5類へと変更される見通しですが、ウイルスそのものがなくなるわけでも、感染力が弱まるわけでもありません。地域活動、経済活動の停滞を招くことのないよう、手洗いや手指消毒などの感染対策を引き続き呼び掛けていきます。

○プレミアム付商品券事業(17,449千円)

原材料価格の上昇・円安の影響に伴うエネルギー価格や食料品価格などの高騰により町民の日常生活へも影響がでています。また、町内事業者の経営もひっ迫した状況が続いています。そのため、新年度においてもコロナ禍で疲弊した町民の日常生活における負担軽減および町内事業者の経営救済として、引き続き、プレミアム付商品券事業(紙)および養老Payを活用して実施主体となる町商工会と連携して電子版プレミアム付商品券事業を実施します。



『個別施策⑥ 防災・減災対策』

養老町まちづくりビジョンの大綱「3. 安心・安全な生活基盤づくり」に関わる施策となります。

★障害者福祉事業(21,978千円)

要電源重度障がい児者に対し、災害による停電などが発生し、電力供給が喪失した場合においても、生命を維持

するうえで必要となる非常用電源装置などの購入費用を助成します。

◆地域支え合い体制づくり事業(1,827千円)

高齢者や障がい者などの避難に支援が必要となる人について、避難行動要支援者名簿の更新を行うとともに、避難方法や配慮すべき事項をまとめた個別避難計画を作成し、円滑な避難の実現に向けた取り組みを進めていきます。

★災害対策事業(10,460千円)

海津市と連携して防災士養成講座を開催し、自助・共助の要となる防災士の育成を推進します。また、災害対策基本法の改正により、町の努力義務となった個別避難計画の作成について、同計画の作成支援および管理をするため、被災者支援システムを更新します。

★常備消防関係車両等購入事業(51,146千円)

災害対応特殊消防ポンプ自動車および積載資機材を更新することにより、災害対応力の維持と向上を推進します。



◆非常備機械器具等購入事業(6,387千円)

消防団員の身体保護装備品の個人貸与を推進するとともに、段階的に防火衣などの装備品を更新することにより公務災害を未然に防止します。

『その他』

★文楽・能大会よろう2023開催事業(1,430千円)

県内の文楽・能の保存会の交流と伝統芸能の啓発を図るため、「岐阜県文楽・能大会よろう2023」を開催し、室原文楽を上演するとともに、本町の文楽の魅力を広く発信するため、冊子「室原の人形浄瑠璃」を作成します。

★塵芥処理費(96,226千円)

ごみの分別・リサイクルの更なる徹底と住民サービス向上のため、多言語に対応し、ごみの分別方法やごみカレンダーを手軽に確認できる「ごみ分別アプリ」を導入します。

★小学校校舎等施設整備事業(96,397千円)

養老小学校プール管理棟が経年劣化しているため、大規模改修を行い、防災物資の倉庫や多目的トイレを備え、地域の防災拠点を兼ねた施設に改修します。

また、計画的に校庭遊具の更新を行い、老朽化した遊具の撤去と遊具設置数の少ない学校への重点的な配置を行うことにより、児童が安全に使用できるよう整備します。